

平成 28 年度 事 業 報 告

平成 28 年度は、少年非行や犯罪のない安全で安心な住みよい地域社会を目指し、「みんなでつくろう安心の街」を合言葉に、静岡県警察、地方自治体、地区防犯協会、防犯ボランティア等と連携して、防犯活動への参加意識の醸成、防犯意識や防犯諸対策向上のための諸活動を次のとおり推進した。

第 1 事業の内容

1 防犯活動推進事業

(1) 防犯功労者(団体)の表彰及びポスター・標語・青パト写真コンクール

① 防犯功労者(団体)表彰

次の表彰を行った。

実施年月日	表 彰 内 容
H28. 6. 15	平成 28 年度静岡県防犯功労団体 (19 団体)
9. 16	永年勤続者 (2 人)
9. 29	平成 28 年度全防連防犯功労者 (金章 3 人、銀章 6 人、銅章 18 人)、功労団体 (1 団体)、防犯ボランティア団体 (1 団体)
10. 12	平成 28 年度関防連防犯功労者 (10 人) 特別功労者 (2 人) 功労団体 (2 団体) 特別功労団体 (2 団体)
	平成 28 年度静岡県防犯功労者 (35 人)
	平成 28 年度県下地域安全ニュース作品優秀者 (2 人)
	平成 28 年度全国地域安全運動用ポスター・標語・青パト写真作品優秀者、応募優秀校 (26 人、11 校)
計	25 団体 11 校 104 人

なお、全防連防犯功労者表彰 (金章) の 2 人及び団体表彰の代表者 2 人は、平成 28 年 10 月 20 日、県警本部長に対する受賞報告を行った。

② ポスター・標語・青パト写真コンクール

小・中・高校生等を対象に子供・女性の犯罪被害防止、振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺防止及び暴力団離脱者就労支援の 3 課題に対し、ポスター・標語を公募するとともに、青色回転灯装備車の活動中の写真を公募したところ、ポスター 134 点、標語 636 点、青パト写真 24 点の応募があり、審査の結果、優秀作品等 26 点と 11 校の応募優秀校を表彰した。

また、優秀作品について(公財)全国防犯協会連合会・警察庁主催の全国コンクールに応募した。

なお、(公財)全国防犯協会連合会で作成した全国コンクール入賞作品を一括掲載したポスターとチラシを関係団体等に配付して、地域安全運動の広報に活用し防犯意識の高揚に努めた。

(2) 各地区防犯協会との連携と指導育成

① 新任防犯指導員研修会の開催

平成 28 年度当初、3 地区（袋井、磐田、細江）の防犯指導員が新規採用されたため、平成 28 年 4 月 22 日、浜松市内において「新任防犯指導員研修会」を開催し、防犯協会の組織、業務内容等基本的な事項について指導教養した。

② 地域安全ニュースコンクールの開催

平成 28 年 9 月 16 日、静岡市内において、各地区防犯協会が定期的に発行している広報紙（誌）の情報発信活動の向上を図るため「地域安全ニュースコンクール」を開催した。

③ 防犯指導員研修会の開催

平成 28 年 9 月 16 日、静岡市内において、県下全体を対象とした「防犯指導員研修会」、平成 29 年 2 月には、東・中・西部において「ブロック別防犯指導員研修会」をそれぞれ開催し、地域安全活動の効果的推進方策や地区防犯活動の運営上の問題点等について協議・意見交換を実施した。

④ 防犯指導員の保険加入

防犯指導員が日常的に実施している街頭活動や防犯教室等において安心して活動ができるよう、活動に起因する事故に備えた賠償責任保険に継続加入した。

⑤ 青色防犯パトロール車の配車の斡旋等

平成 28 年 11 月、日本宝くじ協会の助成による防犯パトロール車「宝くじ号」を菊川警察署管内防犯協会に配車した。

平成 29 年度分として、富士防犯協会への配車を申請した。

(3) 少年の健全育成と非行防止対策の推進

① 青少年の非行問題に取り組む全国強調月間等への支援

7 月の「青少年の非行・被害防止全国強調月間」及び 11 月に実施された「子供・若者育成支援強調月間」では、「丘の子どもたち」など少年非行に関する冊子を配付したり、子供・若者育成支援強調月間静岡県大会に

出席するなど少年非行防止活動を支援した。

② 少年ボランティア団体に対する協力支援

少年非行防止と健全育成を推進している少年警察ボランティア連絡協議会等の行う諸活動を支援した。

③ 子供の犯罪被害防止

教材用に作製したDVD(子供の犯罪被害防止)の貸し出しや子供の犯罪被害防止啓発冊子(みんなの防犯ブック)・チラシ(いかのおすし)の配付を行った。

④ 薬物乱用防止活動の推進

県警察少年サポートセンターを始め関係機関・団体等と連携し、薬物の実態と有害性を訴える広報活動を展開し、危険ドラッグ等薬物を追放する社会環境づくりを推進するとともに、各地区防犯協会や少年サポートセンター等が管内の中・高校生を対象に開催した「薬物乱用防止教室」に対し、薬物乱用防止のDVD等の貸出しをしてその活動を支援した。

(4) 各種防犯団体等との連携と地域安全活動に対する協力支援

① 次世代防犯ボランティアリーダー育成プログラム事業研修会へ参加

平成28年6月9日から10日までの間、東京都新宿区のホテルグランドヒル市ヶ谷で開催された「平成28年度次世代防犯ボランティアリーダー育成プログラム事業研修会」(全防連主催)に本県から2人のヤング防犯ボランティアが参加し、防犯パトロールを中心とした体験型研修を受講した。

② ヤング防犯ボランティア交流会の開催

平成28年7月3日、浜松市北区都田町の常葉大学浜松キャンパスにおいて、県下で防犯ボランティア活動に従事する大学生ら約30人が参加し、「ヤング防犯ボランティア交流会」が開催され、実際に街へ出て危険箇所を点検するなど安全安心マップづくりを体験した。

③ 防犯ボランティア地域交流会の開催

防犯ボランティア活動の活性化と重層的ネットワークを構築するため、平成28年11月14日、浜松市内の「アクトシティ浜松」において、県西部地区のリーダーとして活躍している防犯ボランティア約100人を招請して「防犯ボランティア地域交流会」を開催した。

交流会では、NPO法人浜松子どもとメディアリテラシー研究所の講師による講演に引き続き、防犯ボランティア5団体の代表者から活動報告があり、これを受けて活発な意見交換を実施するなどして防犯リーダーの育成と交流を図った。

③ 生活安全任用科におけるオープン講座の受講

平成 28 年 12 月 1 日、県警察学校で行われた生活安全任用科の防犯環境設計の講座（防犯伝道師による自動車盗、車上狙いに対する被害防止の講義とガラス割り、カーナビ外しの実演）を県防犯協会連合会及び地区防犯協会防犯指導員の受講希望者が受講した。

⑤ 地域安全推進員に対する活動支援

地域安全推進員の活動が効果的に推進できるよう「防犯活動マニュアル」、「活動の手引き」、「活動事例集」等を配付するとともに、各地区の要望に沿ってチラシや防犯グッズ等を作成配布するなど活動資器材等の支援を行った。

また、地域安全推進員が安心して活動に専念できる環境を整備するため、「防犯協会団体総合保険」（ボランティア保険）に加入（更新）した。

更に、ヤング防犯ボランティア団体「しずおか・ぴーす」に対しても保険に加入した。

⑥ 暴力追放・銃器根絶運動の推進

公益財団法人静岡県暴力追放運動推進センター及び県警察と連携し、暴力団の被害を受けやすい風俗営業者の業界に対し、風俗営業所等管理者講習の機会において、暴力団対策の講義及び資料配付を行って暴力団排除意識の醸成に努めた。

また、公益財団法人静岡県暴力追放運動推進センター及び県警察と共催で、平成 28 年 10 月 15 日、沼津市内の「プラザ・ヴェルデ」において、県民約 1,200 人が参加しての「第 34 回静岡県暴力追放・銃器根絶県民大会」を開催し、「暴力団追放三ない運動プラス 1」の実践など暴力団と銃器根絶の機運の醸成に努めた。

更に、暴力追放を課題としたポスター・標語を公募し、優秀作品を表彰した。

⑦ 犯罪被害者対策への協力支援

NPO 法人静岡犯罪被害者支援センターと連携して、犯罪被害者支援活動への積極的な参加と支援を行った。

⑧ 関係機関・団体との連携

次の会議や行事等へ参加・出席して関係機関・団体との連携を強化した。

- ・ 社会を明るくする運動静岡県推進委員会（5/10）
- ・ しずおか防犯まちづくり推進協議会幹事会（5/12）
- ・ NPO 法人静岡犯罪被害者支援センター総会（5/14）
- ・ 一般社団法人静岡県都市開発協会総会（5/17）

- ・ 金融機関（POB）ネットワーク会議(5/27)
- ・ 静岡県地域安全推進員連絡協議会研修会(5/31)
- ・ 静岡県遊技業協同組合総会(6/2)
- ・ 公益法人実務担当者説明会(6/3)
- ・ しずおか防犯まちづくり県民会議総会(6/9)
- ・ 静岡県青少年環境整備審議会第一部会(6/13)
- ・ 静岡県コミュニティづくり推進協議会総会(6/13)
- ・ 関東防犯連絡協議会総会及び地域安全研修会(6/20)
- ・ 万引き対策会議(8/25)
- ・ 全日本アミューズメント施設営業者連合会地域懇談会(9/21)
- ・ 全国地域安全運動中央大会(9/29)
- ・ 全国防犯協会専務理事・事務局長会議(11/4)
- ・ 静岡県青少年環境整備審議会第一部会(11/8)
- ・ 静岡県暴力追放・銃器根絶県民大会(11/15)
- ・ 子ども・若者育成支援強化月間静岡県大会(11/19)
- ・ 犯罪被害者支援講演会(11/26)
- ・ 静岡県青少年環境整備審議会委嘱式及び全体会議(12/9)
- ・ 静岡県自動車盗難等防止協議会委員会(2/22)
- ・ 静岡県コミュニティづくり推進協議会総会(3/23)
- ・ 静岡県自動車整備振興会こども 110 番の店ツール品贈呈式
(3/24)

(5) 静岡県・静岡県警察との連携による犯罪抑止のための広報啓発活動

① しずおか防犯まちづくり県民会議の行う諸施策の推進

「しずおか防犯まちづくり県民会議」の幹事団体として、静岡県と連携して、小冊子、ポスター、チラシ等を作成配布して広報啓発活動を推進した。

② 静岡県警が行う諸施策の推進

県警察が行う各種の犯罪抑止のための強化期間（ロック・オンしずおか、振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺撲滅に向けた取組強化、万引き防止、痴漢被害防止、年末特別警戒等）や諸対策に対して、広報用チラシ、小冊子、看板・懸垂幕、DVD等を作成、配付するなどして広報啓発活動を推進した。

(6) 地域安全運動等県民の防犯意識の高揚

① 防犯思想の普及啓発

侵入犯罪や街頭犯罪に関する情報と対策を各種のチラシや「静防連だより」、「ホームページ」等で提供し、防犯意識の高揚を図った。

また、防犯広報紙(誌)、小冊子、ポスター等の発行・斡旋配付について、次のとおり推進した。

- 広報紙(誌)
 - ・ 機関紙「静防連だより」(年間4回) 95,000部
 - ・ 広報誌「安心な街に」 1,440冊
 - ・ 広報誌「家庭と防犯」 360冊
- 防犯小冊子(本)
 - ・ 地域安全推進員活動の手引き 500冊
 - ・ 地域安全推進員活動の手引き(28年用参考資料) 3,650冊
 - ・ 防犯ボランティア活動マニュアル(実務) 600冊
 - ・ 特殊詐欺被害防止冊子 4,100冊
 - ・ 子供の犯罪被害防止冊子 6,400冊
 - ・ 暴力団撃退マニュアル 850冊
 - ・ 風俗営業管理者マニュアル 1,100冊
 - ・ 地域安全活動事例集 4,200冊
 - ・ 丘の子どもたち 1,500冊
 - ・ 市区町別にみた平成27年の犯罪 190冊
- 防犯リーフレット
 - ・ 風俗環境浄化活動用 1,100枚
- 防犯チラシ
 - ・ 自転車盗難防止(ロックオンしずおか2016) 30,000枚
 - ・ 振り込め詐欺被害防止(3ない行動) 47,000枚
 - ・ 振り込め詐欺被害防止(高齢者訪問) 100,000枚
 - ・ 小さな子供の安全安心(いかのおすし) 30,000枚
 - ・ 全国地域安全運動 35,000枚
- 防犯ポスター
 - ・ 防犯タイアップポスター「モンスターハンターストーリーズ」 540枚
 - ・ 防犯タイアップポスター「レゴ バットマン」 600枚
 - ・ 全国地域安全運動用 500枚
 - ・ 年末特別警戒用(大・小) 3,745枚
 - ・ サイバー犯罪セキュリティ対策 5,000枚
- 防犯懸垂幕・横断幕
 - ・ 全国地域安全運動用(呉服町名店街・静岡駅地下道) 2枚

- ・ 年末特別警戒（呉服町名店街・静岡駅地下道・パルシェ） 3枚
- クリアファイル
 - ・ 特殊詐欺被害防止（水谷隼選手） 5,000枚
 - ・ サイバー犯罪セキュリティー対策 5,000枚
- DVD
 - ・ 防犯教室等への貸し出し 95地区、102回、13,122人
 - ・ 青パト活動マニュアルDVD 205枚
- マスコミ
 - ・ FM-HI！ いかのおすし 4月1日～4月30日
 - ・ インコ式静岡新聞 ピヨスケの安全安心ふじのくにキャンペーンキックオフセレモニー 7月1日
 - ・ FM-HI！ 子供夏休み対策 7月18日～8月29日
 - ・ FM-HI！ いかのおすし 3月1日～3月31日
- その他啓発用防犯資器材等
 - ・ 防犯手帳 2,666冊
 - ・ 防犯カレンダー2017(全防連) 85冊
 - ・ 防犯広報用セロテープ 360巻
 - ・ 風俗環境浄化活動広報啓発品（ボールペン） 3,000本
 - ・ 防犯活動広報啓発品（定規） 2,000本
 - ・ 防犯ホイッスル（日本マクドナルド社寄贈） 37,250個
 - ・ こどもの犯罪被害防止啓発品（静岡県自動車整備振興会寄贈） 5,000セット
 - ・ 静鉄路線バス車内放送（振り込め詐欺被害防止） 1日2,111回・1年間
 - ・ 静鉄電車車内放送（振り込め詐欺被害防止） 1日313回・1年間

② 地域安全活動の推進

「みんなでつくろう安心の街」をスローガンに地域住民、自治体、関係機関・団体及び警察と連携して次のとおり各種地域安全活動を推進した。

○ 全国地域安全運動

10月11日から同月20日までの10日間、子供と女性を対象とした犯罪、特殊詐欺、乗り物盗、万引きの被害防止を重点とした地域安全運動を県下全域で展開した。

○ 地域安全のつどい

10月12日、静岡市内「あざれあ」において、県警幹部、協会役員、防犯指導員、地域安全推進員等300人が参加して、「平成28年度地域

安全のつどい」を開催し、第1部では防犯栄誉金章等の受賞披露、防犯栄誉銀章の表彰伝達及び地域安全・非行防止活動等の表彰授与の式典を行い、第2部では常葉大学准教授・木村佐枝子氏による講演や県警音楽隊による演奏を聴講した。

○ 「安全・安心フェア」

10月17日、アクトシティ浜松大ホールで開催された「細川たかし&長山洋子コンサート」のホール出入口において「安全・安心フェア」を開催した。

フェアでは、チラシや啓発品を配布して振り込め詐欺被害防止を呼び掛けた。

また、同フェアと同様、11月20日、浜松市西区雄踏町で行われた東海ラージボール卓球大会の試合観戦者に対し、水谷隼選手をモデルとした特殊詐欺被害防止を呼び掛けるクリアファイルおよび広報紙等を配布して防犯広報を行った。

○ 年末特別警戒

12月1日から31日までの間、県警察と共催で年末特別警戒を実施した。

特別警戒では、立看板用ポスターを作成し、各地区防犯協会に配付して、警察署、交番・駐在所、金融機関、コンビニ、パチンコ店、事業所等に掲出したほか、JR静岡駅地下道、呉服町名店街に横断幕、静岡駅パルシェに大型懸垂幕を掲出して広報啓発活動を行った。

③ 地域の犯罪情勢に即した効果的な犯罪抑止対策の推進

県民の身近で発生し不安感を与えている犯罪抑止対策（地区防犯協会の活動も含む）として、次のとおり諸対策を推進した。

○ 街頭犯罪抑止対策

- ・ 自動車盗難防止及び車上ねらい抑止対策
- ・ 自転車盗難防止対策
- ・ ひったくり防止対策
- ・ 万引き防止対策

○ 住宅対象侵入犯罪防止対策

- ・ 体験型防犯教室
- ・ 防犯診断
- ・ 住まい博での防犯モデルマンションの普及広報

○ 子供・女性を犯罪から守るための施策

- ・ 子供安全情報の提供
- ・ 痴漢被害防止対策

- ・ 体験型防犯教室
- ・ 新入学児童保護対策
- 振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺被害防止対策
 - ・ 参加・体験型防犯教室の開催
 - ・ オレオレ詐欺被害発生ゼロの日の広報啓発
 - ・ 預手プランを活用した振り込め詐欺を始めとする特殊詐欺防止対策

(7) 防犯施設及び防犯資器材の普及

「安全・安心フェア」、「防犯教室」、「2016 住まい博」等のイベント会場において、防犯性能の高い建物部品等の展示に併せ防犯モデルマンション等の普及広報を行った。

(8) 防犯対策の調査研究

関係防犯団体や自治体と連携して、防犯対策について情報交換を積極的に実施するなど調査研究を推進した。

また、事業活動を効果的に推進するため、犯罪統計、犯罪発生傾向・特徴、地域安全活動に関する資料等を作成して、地区防犯協会をはじめ県民に広く広報資料として提供した。

2 自転車等防犯登録事業等

(1) 自転車等の防犯登録事業

① 自転車防犯登録の推進

自転車法に基づく「自転車防犯登録所」である量販店等 450 店舗に対して自転車防犯登録業務を推進した。

平成 28 年度は、自転車防犯登録所に対して登録標 121,000 枚を送付し、このうち自転車防犯登録所で自転車利用者が防犯登録した 74,000 台の「自転車防犯登録標」を受け付け、点検、修正及び必要事項の記載を行った上、電磁的記録を作成し、県警察本部に送付した。

また、自転車利用者は、いわゆる自転車法の第 12 条第 3 項により自転車の防犯登録が義務化されていることから指定の「自転車防犯登録所」に対し、自転車利用者の完全登録と登録業務の迅速的確な処理について、量販店等に就職している警察OBを介して協力を依頼したほか、巡回指導 27 店舗、電話による指導警告を 5 回行い法の適正な運用に努めた。

② 自転車防犯登録業務の「OCR化」の推進

自転車防犯登録の早期登録と業務の合理化を図るため登録業務のOC

R化（光学文字認識システム）を導入し、平成 28 年 7 月から本格稼働させた。

③ 照会業務の適正な推進

盗難、遺失、放置自転車の早期発見・処理のため、自転車利用者や防犯登録所及び県警察からの照会が 7,600 件（登録抹消等を含む）あり、これを迅速的確に処理した。

(2) 自転車盗難防止対策の広報啓発活動

静岡県自転車軽自動車商業協同組合や各地区防犯協会等と連携し、自転車の防犯登録の完全実施や「ツーロック」の完全実施について、学校、大型スーパー、駐輪場に対して重点的に広報啓発活動を推進した。

特に、県警察が自転車盗難や車上ねらい、オートバイのキー付き被害が依然として高いとして、平成 28 年 7 月 1 日から 12 月 31 日の間実施した「ロック・オンしずおか～あなたの愛車を 守ロック！～」に協働して、チラシ等を配付するなど防犯意識の高揚、確実な鍵掛け運動を推進した。

3 防犯モデルマンション・タウン認定（指定）事業

(1) 防犯モデルマンションの認定及び普及

犯罪の防止に配慮した構造、設備を有する「防犯モデルマンション認定事業」については、県警察及び業務委託先である一般社団法人静岡県都市開発協会と連携して、「2016 住まい博」、「ホームページ」等において普及活動を実施した。

平成 28 年度は、22 件（新規 11 件、更新 11 件）の申請があった。

これら申請のあったマンションにあつては、書面、現場審査を行い「モデルマンション」として、17 件（新規 8 件、更新 9 件）を認定した。

(2) 防犯モデルタウンの指定と普及

県警察と連携し、ホームページ等を活用して犯罪に強い住宅と防犯面に配慮した地域環境設計の分譲住宅団地の「防犯モデルタウン」の広報普及活動を推進した。

4 風俗営業所等の管理者講習、構造・設備等の調査及び風俗環境浄化に関する事業

県公安委員会から風営適正化法第 39 条に基づく「静岡県風俗環境浄化協会」として指定を受けて、次の事業を行った。

(1) 風俗営業所等の管理者を対象とした講習会の実施

風営適正化法に基づく、風俗営業所等の管理者に対する法定講習を県警察と連携して、静岡県総合社会福祉会館他県内各地の会場において、30回延べ917人に対する講習を行った。

(2) 風俗営業所等現地調査

風営適正化法に基づく、風俗営業等の許可申請や構造・設備の変更承認申請に関し営業所に対し、構造設備の技術上の基準及び営業地域の規制に関する現地調査 340件を行った。

内訳は、許可 327件、承認 13件であった。

(3) 風俗環境浄化活動の推進

風俗営業所等の管理者講習会や現地調査を通じて関係者に対し、風俗環境浄化活動について指導するとともに、広報啓発品（ボールペン）3,000本を購入したので、管理者講習会や地区防犯協会等を通じて広報活動を行っていく。

(4) 法定帳簿等の斡旋

深夜酒類提供飲食店営業届出にかかる書式1冊及び従業者名簿9綴並びに風俗営業等管理者マニュアル14冊を斡旋した。

(5) 風俗環境に関する苦情の処理

地域住民及び風俗関係業者から風俗環境に関する苦情8件が寄せられ、これを適正に処理した。

第2 組織運営

1 会計及び業務監査等の実施

(1) 平成28年4月22日、税理士鈴木剛による平成27年度収入支出決算について調査を受けた。

(2) 平成28年4月25日、杉本茂監事・中出泰夫監事による平成27年度の会計及び業務の執行についての監査を受けた。

(3) 平成28年5月23日、県警察本部による業務及び財産に関する検査を受けた。

(4) 平成28年11月1日、県法務文書課及び県警察本部による立入検査を受けた。

2 理事会の開催

(1) 平成28年5月10日、静岡市葵区所在「グランディエールブケトーカイ」において理事会を開催し、

○ 平成28年度社員総会の招集（案）

○ 平成27年度事業報告（案）

- 平成 27 年度決算報告（案）
- 任期満了に伴う理事・監事の選任（案）
- 賛助会員（団体）の入会（案）

等について審議し、全会一致で議決した。

(2) 平成 28 年 6 月 15 日、静岡市葵区所在「グランディエールブケトーカイ」において理事会を開催し、

- 代表理事の選定（案）
- 業務執行理事の選定（案）

について審議し、全会一致で議決した。

(3) 平成 29 年 3 月 7 日、静岡市葵区所在「グランディエールブケトーカイ」において理事会を開催し、

- 平成 29 年度事業計画（案）
- 平成 29 年度収支予算（案）
- 役員等職務権限規程の一部改正（案）

について審議し、全会一致で議決した。

3 社員総会

平成 28 年 6 月 15 日、静岡市葵区所在「グランディエールブケトーカイ」において平成 28 年度社員総会を開催し、

- 平成 27 年度決算報告（案）
- 任期満了に伴う理事・監事の選任（案）
- 正味財産増減計算書内訳表の修正（案）
- 役員の報酬等に関する規程の改正（案）

等について審議し、全会一致で議決した。

4 関係機関・団体との連携

公益財団法人全国防犯協会連合会、関東防犯協会連絡協議会、各地区防犯協会、その他関係機関団体等と積極的に連携の強化を図った。

5 財政基盤の確立

賛助会員を拡大するため、広く募集活動を実施した。

事業報告附属明細書

な し